事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

_													
	コード		名	称		区分	コード		名	称			
事業名	102 1	郑古思六	流推進事業(大津	申市とのお答り		会計	01	一般会計					
尹未口	103-1	X BITITE	加胜学来(八片		款	02	総務費						
基本	54	抽扰姿酒:	を活かして、他地	対ボレ六済する		項	01	総務管理費					
施策	34	地域貝店	を/可り/O C、IBル	出場に文派する		目	07	文化振興費					
施策	4	地域間交	なの性は			細目	103	都市間交流推進事業					
ル 東	'	地域间文		細々目	01	都市間交流推	進事業						
基本	計画該	当頁		186	í	行革大綱	の重点	点事項番号					
担当部課	コード	*	040	200		評価者		深田 洋之	連絡先	22 -	9624		
加马即珠	名称		企画振興部	文化国際課		氏 名		澤田 洋子	建給 元	(内線)	2120		

F	集の計画	・内容						
			対	象等(何	を、誰を)			成果(どうなるのか)
事業目的	市内の大津市にぎわ	民踊愛如 民連 いフェス ^を		í			芭蕉ゆ	かりの地との交流を広げることができる。
			(対象	件数)		
栝	拠法令·	要綱等						
開	始年度	平成	6	年度	関連事業			
然	了年度	平成		年度	別连尹未			
本年度事業内容	市民連加した。	を結成し	、びわ沽	引大津夏	まつり江州音	の参加により伊賀 頭総おどりに参 市民連を招待し	状況	17年度は、にぎわいフェスタ前夜祭に花火とともに開催していた盆踊りが、花火中止に伴い、にぎわいフェスタ当日に開催することとなり、担当課が平成18年度から文化国際課となった。

整備内容 1 建設用地 2 建設面積(延床面積) 3 規模·構造 4 総事業費

運営体制

Æ A THIN			
1 運営主体	直営	指定管理	□ 民間委託等
委託先			
2 配置(予定)人員3 年間運営費	-		人 大
4 市内の類似施設			
	1		

事業類型 事業種別 継続 単独 ソフト事業

富業宝績

子 未大概									
活動指標	単位	実	績値	目標値					
/立到1日信	十四	H17	H18	H19	H20				
にぎわいフェスタワーキング部会		目標	目標 5	5	5				
にされれてはスタケーキング部会		実績 :	3 実績 10)	5				
盆踊り大会出場者説明会		目標	目標 1	1	1				
		実績	1 実績 1	1	I				
		目標	目標						
		実績	実績						

2次評価対象分

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実	績値	目標値		
争未の成木を則る相信	指標改定の考えり	井山	H17	H18	H19	H20	
参加人数(大津市から伊賀市)	参加人数を増やすことにより、交流が広が	ı	目標 35	目標 35	35	35	
多加人数(人体印7)、5分页(1)	3 .	^	実績 26	実績 27	33	33	
参加人数(伊賀市から大津市)	参加人数を増やすことにより、交流が広が	1	目標 35	目標 35	35	35	
多川八奴(ア貝川から入拝川)	る。	^	実績 44	実績 34	აა	აა	

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	芭蕉翁生誕350年記念を契機に芭蕉ゆかりの大津市と江州音頭盆踊りを通じて交流することにより、伊賀市をPRできる。
有効性		松尾芭蕉を通して、大津市と伊賀市の両都市間または両市民間の友好が深まる。にぎわいフェスタの中で、大津市との交流を図ることにより、大津市との交流を市民に周知ができるが、対象者が限られている。
達成度	4	計画どおり達成できた。
効率性	4	コストの削減の余地がない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
С		大津市は松尾芭蕉に縁の深い都市であるため交流を継続したいが、対象者の範囲が限られているため事業の見直しを検討したい。 しかし、伊賀市の意向だけで交流をただちに廃止するということはできないので、平成20年度に協議を行い、交流の見直しをしたい。

	年度									建決算内]容	平成1	8年度	決算内	容	平成	19年度	計画内	容			計画内容			21年度			平成2	2年度	計画内	容
	十/又						事	業内 容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位 3	? 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額
谁		1									(千円)			(千円)				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
	委託	$\langle \Box$	\angle				旅費					旅費			11	報償費			105	報償費			105								
捗		7	Y			=	消耗品	品費			104	1 消耗品費				旅費				旅費			15								
				\ .		サ	食糧費	貴			99	食糧費			91	消耗品費ほか)\		84	消耗品費ほか	١.		84								
状	工事		\bigvee	eq aggregation (1) = 1000 (1)		大	手数制					手数料				食糧費				食糧費			122								
\ <u></u>			7	$\neg \langle$				呆険料			19	傷害保険料				手数料				手数料			236								
況				,			自動車	車借上料	4		80	自動車借上料			83	傷害保険			19	傷害保険			19								
																委託料			158	委託料			158								
																機械器具借上料	-			機械器具借上料等			90								
	捗率					abla										自動車借上料				自動車借上料	-		83								
((%)						事業	計(A)			398	事業費計(A)			345	事業費計(A)			912	事業費計(A)			912	事業費計(A)			0	事業費計(A)			0
		事業	製入 人	人員			人件	建 (B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費 (B)	0.4	人	2,880	人件費 (B)	0.4	人	2,880	人件費 (B)		人	0	人件費(B)		人	0
	7.	ルコ	スト(A)+	(B)						3,27	5			3,225				3,792				3,792				0				(

直業費(人件費除()の財源内訳

	果具	((人忤寅除()の射源内訳						
(A	١)	事業費	395	345	912	912	0	0
		国庫支出金						
A	\ _	県 支 出 金						
U.	ر ب	地方債						
記	1 5	受益者負担						
人	7	そ の 他						
訴	ŘĹ	一 般 財 源	395	345	912	912	0	0
H	`	計	395	345	912	912	0	0
佉	# 7	・の他特定財源の名称・補助基本額・ 図 也方債の区分と充当率等						
Iff	#	<u> </u>						
	7 1번	也方債の区分と充当率等						